

# 決算が認定されました。

# 平成15年度

## 一般会計

歳入	119億 2,109万円
歳出	117億 832万円
16年度に繰り越す財源	2,669万円
実質収支額( 実際残るお金 )	1億 8,516万円
歳入の内訳( 主なもの )	
町 税	26億 7,541万円
地方交付税	32億 1,392万円
国庫・県支出金( 補助金 )	14億 9,837万円
町 債( 借金 )	14億 6,250万円

9月定例会では、平成15年度立山町一般会計ほか特別会計6件および水道事業会計の決算認定の件が決算特別委員会に付託された。

委員長 中川 光久  
副委員長 村田 昭  
委員 町田 信子  
桑原 米蔵  
舟橋 貴之  
米田 俊信

10月14日から4日間にわたり委員会を開催し、審査の結果、賛成全員で認定されるものとした。これを受けて、12月定例会初日に開催された本会議では採決の結果、賛成全員で認定された。

審査の概要は以下の通り。



農村公園(目桑地内)

### 〔住民生活課〕

Q 可燃ごみの収集を民間業者に委託したが、その効果は。

A 15年10月から一部地区を対象に行った。委託料は半年で409万5千円だが、経費の節減に役立っている。町営バスの利用が少なくないと聞いているが、今後の改善策は。

A 利田線や新川線の利用率が低い。中学生が利用したいとの申し出もあり、合意が得られれば、見直しをしたい。

### 〔墓地公園事業特別会計〕

Q 公園管理料で未収入分3件あるが。

A 現在2件となったが、夜間に行ってもなかなか会えない。

### 〔税務課〕

Q 税の不納欠損額が増えていることについて監査委員から強く指摘されているが。

A 資産があるものについては、極力差し押さえなどするようにしている。今年、管理職を動員して訪問徴収をしたところ、成果があった。

### 〔消防署〕

Q 立山の救急業務に関する県の補助が1900万円ほどになったが。

A 国の基準と出勤実績に基づき、県の補助が決まる。国の基準が下がってきている。

### 〔健康福祉課〕

Q 保育所入所時負担金の滞納状況は。

A 過年度分はなかなか整理がつかない。新興住宅地の方で未納者が多く滞納額も多い人がいる。

### 〔国民保健事業特別会計〕

Q 収支状況は健全といえるか。

A 実質1千万円弱の黒字だが、収納率も下がってきており、また、一人当たりの医療費も増大する傾向にあるので楽観視はできない。

### 〔建設課〕

Q 町営住宅の家賃について国の三位一体改革に関連して家賃保障の補助金がなくなった場合、現行の家賃が維持できるのか。

A 補助金改革に対して税源委譲はセットであるはずなので、住宅維持のための税源委譲は当然あると考えている。

### 〔商工観光課〕

Q 企業誘致の見通しは。

A 全域が農業振興地域であるために、その除外に時間がかかるということで、進出希望の企業が他に移ってしまうことがある。塚越地区が農振除外地域であるので、この地を勧めている。



開通間近の富立大橋

### 〔農林課〕

Q グリーンツーリズムを今後どのように進めていくのか。

A 国や県の事業を導入し、東谷地区3戸の農家において農泊を体験してもらおう計画を立てている。

### 〔農業委員会〕

Q 整備田と不整備田とは作業能率も違う。標準小作料策定にあたって、どんな調査をして小作料を決めているのか。

A 県農業会議の米価の算定及び生産費用を参考に標準小作料を試算し、小作料協議会で十分検討し決定している。1区画30アールを基準としている。

### 〔企画情報課〕

Q 滑川中新川地区広域情報組合への負担金2200万円余りは、加入比率に基づいて決まったのか。

A 施設整備のために、町が借入れた起債の利息返済分や県振興資金からの借入れ分などだ。

### 〔学校教育課〕

Q 雄山中学校のプールの利用状況は。

A 一部改修も行ったが、まだ水の濁りがある。現在、原因を調査している。

### 〔社会教育課〕

Q 子育て学習支援事業、親子ふれあい村事業、子供元気センター事業の県補助金がかかり減額傾向にあるようだが、継続できるのか。

A 今後も継続したいと考えている。

### 〔上下水道課〕

水道事業会計

Q 老朽管の布設替えの時機が来ていると思うが、今後の計画は。

A 老朽化した五百石配水池なども更新したいが、費用もかかることから収支合わせて順次進めたい。4000万円の利益では健全な資本投資ができないので、もっと収益を上げたい。



3歳児親子ふれあい村事業

